

NGC4374=M84 銀河に超新星発見

山梨県大泉村で「星の村：ハヶ岳南麓天文台」を運営する串田嘉男氏夫人・麗樹さんは、1991年12月9日20時15分（世界時）に、おとめ座のNGC4374=M84 銀河の位置角165度、核から約80秒角の場所に光度14等級の超新星らしい星像を発見し、国立天文台に連絡してこられた。天文台では、パロマー写真星図や、トンプソンの超新星捜索用星図などでその場所に該当する星像のないことを確認し、ただちにIAU天文電報中央局を通報した。IAU天文電報中央局からは、1991bgと命名した天文電報と、IAUC回報5400号が世界の主要天文台へ配信された。麗樹さんは、御主人と共に「星の村」を運営し、自身でも天体観測を行い、特に銀河に出現する超新星の捜索を眼視観測で続けている。今回の発見は、40cm F5反射望遠鏡による眼視捜索の成果であった。

発見の後、御主人によりただちに写真撮影が行

なわれ、位置が測定された。

測定された位置は、次の通りである。

$$\left. \begin{aligned} \alpha &= 12\text{ h } 25\text{ m } 03.71\text{ s}, \\ \delta &= +12^{\circ} 52' 15.8'' \end{aligned} \right\} \text{(J 2000.0)}$$

なお、IAUからは1950.0分点に変換された位置が配信された。発見者などによる光度の概測値はつぎのようである。

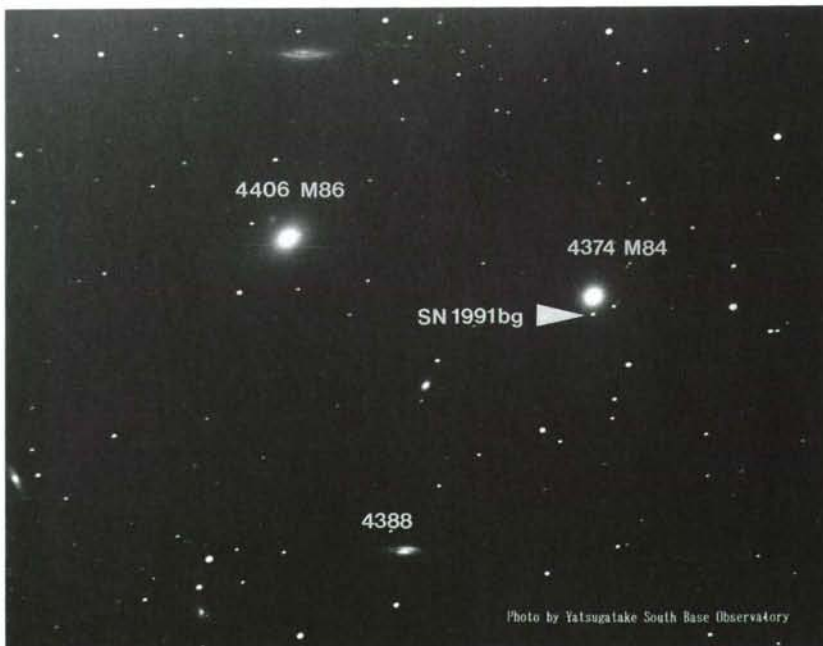
11月17.802 UT	限界等級15.1等までの写真では見えず
12月03.777	約14.9等
12月09.860	約14.5
12月10.804	約14.4

また、京都大学宇宙物理学教室の加藤太一氏が国立天文台・堂平観測所で観測し、つぎのような概測値を得ている。

12月10.8 UT 14.3 (眼視等級)

女性による眼視観測で、超新星が発見されたのはおそらく最初ではないかと思う。

(1991年12月14日 香西 洋樹)



NGC 4374=M 84 に出現した超新星 SN 1991 bg. 1991 年に 12 月 13 日 $04^{\text{h}}27^{\text{m}}00^{\text{s}} \sim 04^{\text{h}}52^{\text{m}}00^{\text{s}}$ (JST). 40 cm F 5 反射を F 4.1 にして撮影。水素増感 TP 6415. フィルターなし。ハヶ岳南麓天文台・串田氏撮影。